



IoT活用を加速する ディープラーニング

株式会社 Preferred Networks

西川 徹



**IoTの普及による
デバイスの進化**

×

人工知能の進化

×

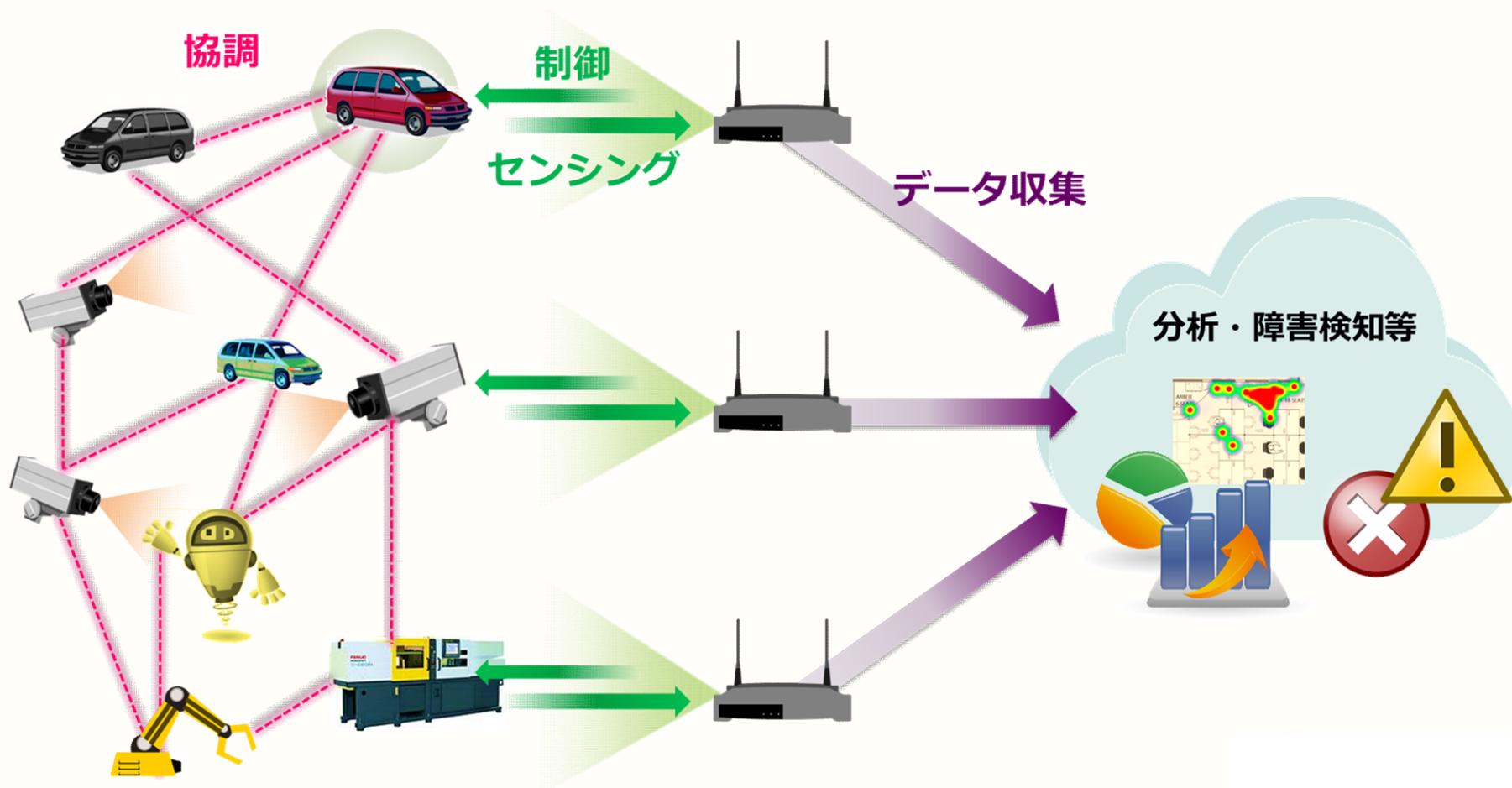
**分散協調型の
新しいコンピューティング**

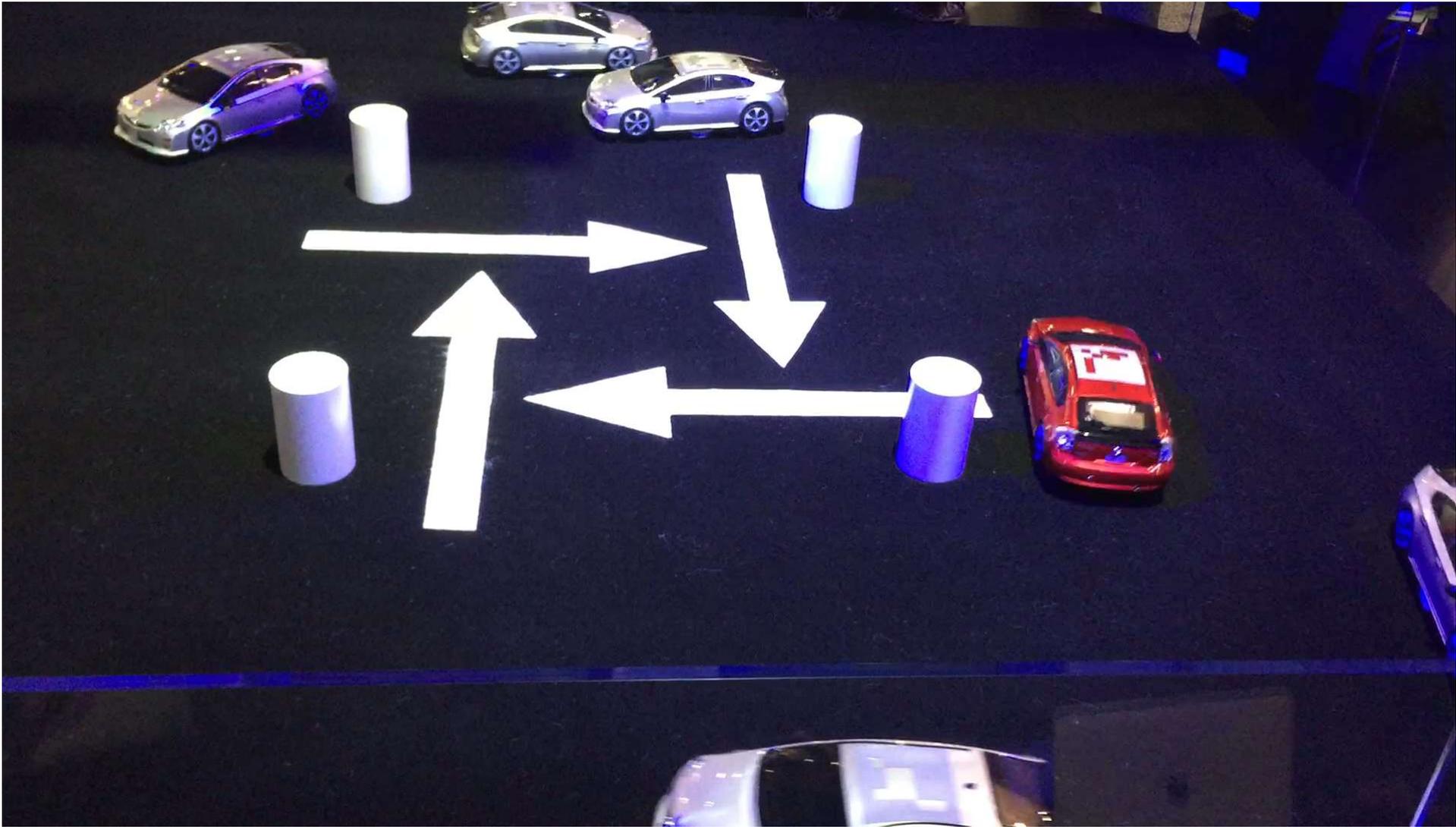
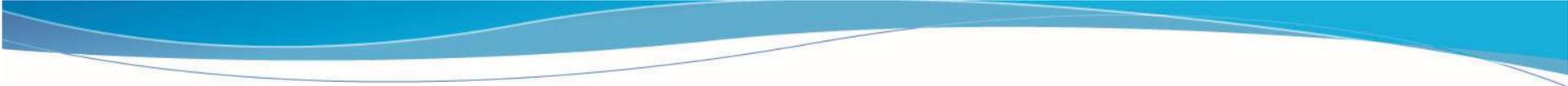


ディープラーニングの 制御への適用

センシング → コントロール・アクション

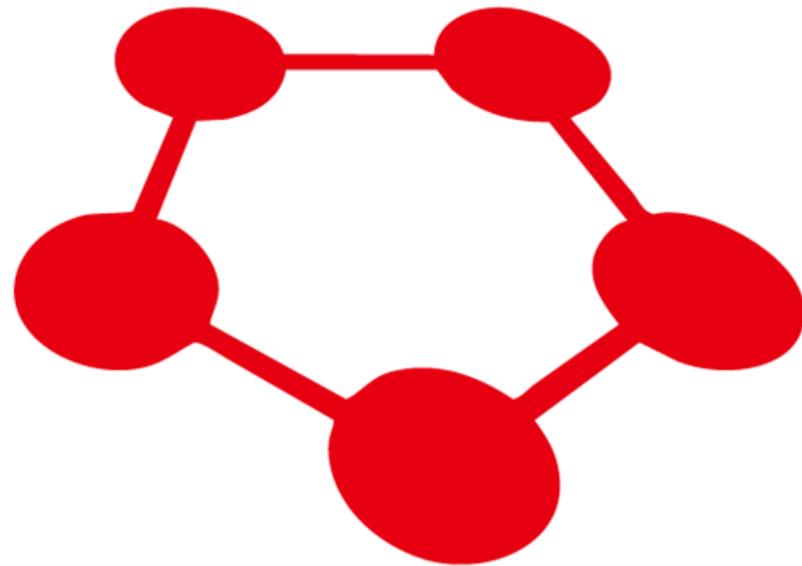
- IoTデバイスはセンシングだけでなくリモートでのコントロール・アクションを実現する





Chainer: 2015/6/9 Release

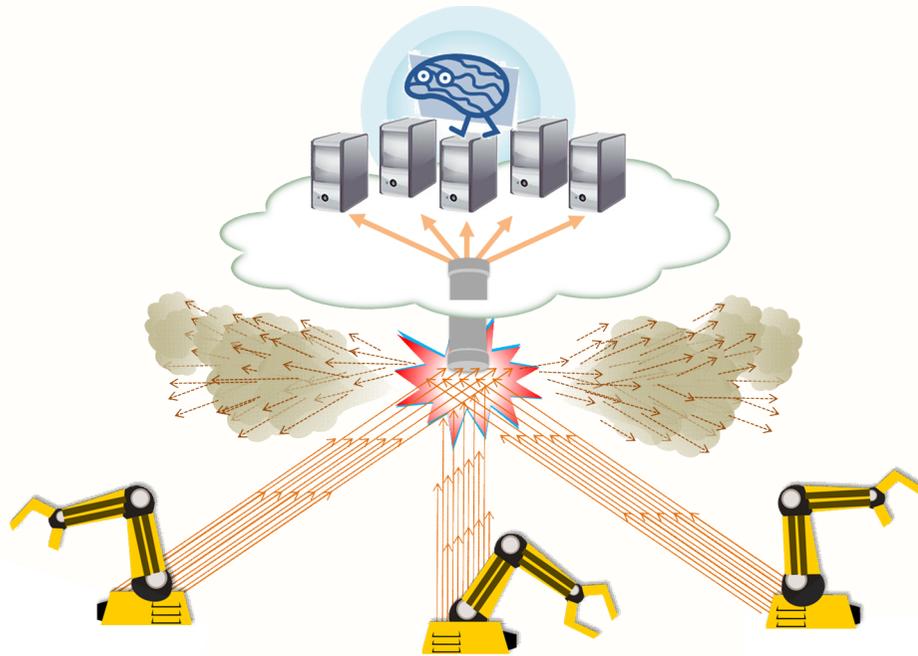
A Powerful, Flexible, and Intuitive Framework of Neural Networks



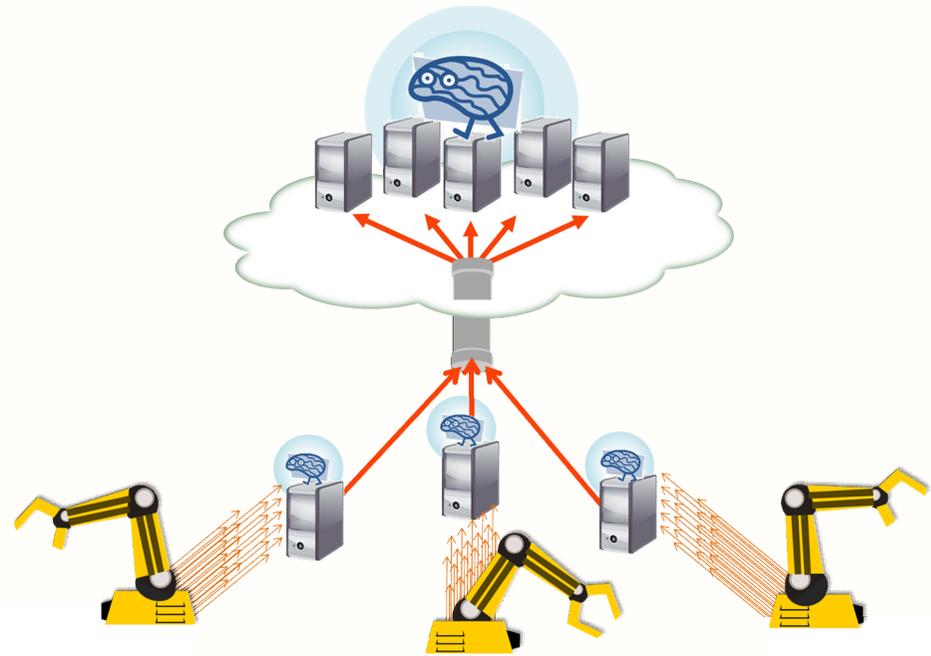
Chainer

クラウドコンピューティングから新しいコンピューティングへ

クラウドコンピューティング



エッジヘビーコンピューティング



AI・ロボット技術の社会展開・社会実装に向けて

- まだどの領域で機械学習が有効に働くかは、未知数。まだまだ仮説検証を繰り返す必要がある。
 - そういう不確定要素を理解した上でスピードを上げて取り組める会社でないと実用化は難しい
 - コンソーシアムのような形だと、スピードの遅い企業が速い企業の足を引っ張ってしまうだろう
- 仮説検証を繰り返すためには、優れたハードウェア・ソフトウェアだけでなく、実験を思う存分実施できる環境が必要
 - 土地の問題
 - いろいろな環境で実験しないと見えないこともある
- 計算力は非常に重要な課題
 - 計算力の大小で勝負が決まってしまうこともある

Copyright © 2014-

[Preferred Networks All Right Reserved.](#)